NPO法人名古屋整形外科地域医療連携支援センターの実践報告

Practice report of NPO Nagoya Orthopedic Regional Healthcare Center

2-17K-10-2

銭田良博[1)2)]，佐藤公治[2)3)]，安藤智洋[2)3)]，細江浩典[2)3)]

1) 株式会社ゼニタ（NORH事務局） http://zenita.jp

2) 特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター　http://norh.umin.jp

3) 名古屋第二赤十字病院　http://www.nagoya2.jrc.or.jp

はじめに

特定非営利法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター（NPO Nagoya Orthopedic Regional Healthcare Center; NORH）は、八事整形医療連携会の発展により整形外科運動器領域における地域医療連携を推進する団体として、平成23年（2011年）9月7日に設立された。NORHが設立されてから現在までの活動内容の詳細と現状の課題、および今後の方向性について報告する。

目　的

この法人は、医療従事者・企業・自治体職員などとともに、それぞれの役割を発揮しながら地域で連携し、医療従事者の人材育成、調査研究や政策提言および発表報告、相談や助言、知識の普及や情報提供などに関する事業を行い、安心して医療保健サービスを受けることのできる社会の実現に寄与することを目的としている。

方　法

法人の理事および幹事は現在13名で、八事地区で活動している医師・看護師・理学療法士・薬剤師・管理栄養士・鍼灸師・一般市民などの多職種で構成されている。

活動内容

【八事整形会・八事整形医療連携会の歩み】

1999年　八事整形会（八事地区整形外科医の研修会）発足

2002年　八事整形医療連携会（八事地区メディカルスタッフの研修会）発足

2003年　大腿骨頚部骨折地域連携パスの運用開始

2009年　名古屋市の共通パスを作成

2011年　当法人設立

【整形外科医およびメディカルスタッフ研修会の支援】

名古屋日赤整形外科研究会、脊髄倶楽部、日赤学会、日本低侵襲脊椎外科学会、日本病院学会、日本脊椎脊髄病学会、日本脊髄病学会、日本組織移植学会、日本インストゥルメント学会、八事整形スポーツメディシン研究会、etc.

【市民公開講座：骨粗鬆症・地域でのリエゾンロコモ予防を目的として】

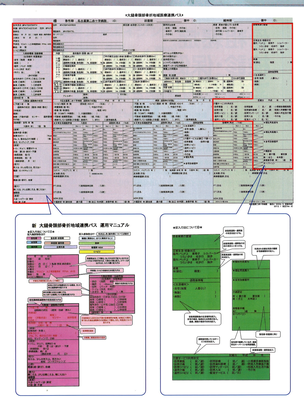
八事あしの健康教室、痛みの教室、転倒予防セミナー、ロコモセミナー、etc.

【啓蒙活動】

転倒予防マニュアル、八事ロコモ健康手帳、骨粗鬆症マネージャー育成、etc.

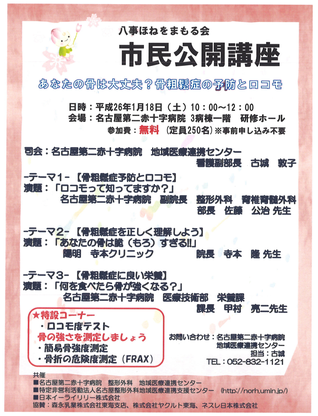
【医療者国際交流】

名古屋第二赤十字病院整形外科と国際医療救援部を中心とした、医療者の国際交流による研修のための講演会や勉強会および会議支援を行った。



結　果

法人化により活動出来た具体例として、骨粗鬆症・地域でのリエゾンロコモ予防を目的とした市民公開講座などの社会貢献、医療者国際交流や整形外科・地域医療連携に関する研究活動に対する支援、転倒骨折に対する地域医療連携パスの開発と普及、院内および院外でのリエゾン活動、骨粗鬆症マネージャーの育成、などが挙げられた。



現状の課題

・認定NPO取得？

・年々、寄付金収入が減っている。

・NPOの理念に則った、継続性のある事業をどのように行っていくか？

今後の方向性

・骨粗鬆症マネージャーの育成

・寄付金のみに頼らず、NPOで定常的な収益が得られる事業を検討する。

→リーフレットおよびチラシを作成し、市役所・介護保険課・保健所・小中高校などへ働きかける。

・理事および幹事が、どのような分野が得意でどのような講演等ができるか？

→顔写真入りでホームページに載せる。

・総合支援事業の中で、一般介護予防事業への参入を目指す。

結　論

法人化により、個人レベルでの地域医療連携の推進活動で起こりうる、財政面の透明化、事務機能の限界、他団体や法人・市町村など公的機関との折衝、などの問題を解決することができた。

日本リハビリテーション医学会
COI開示

筆頭発表者名：銭田　良博

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。